

# PTU学生大活躍

## なかまちテラスまつり 体験ワーク「ロボットハンド」を作ろう

### 小中学生に大好評

5月19日（日曜）  
なかまちテラス（小平市仲町145）  
において第5回「なかまちテラスまつり」が開催された。

3年前から「ロボットハンド製作教室」を毎年実施していることで、毎回多くの子供達が楽しみにしているイベントだそうである。PTUでは、昨年から学生の自由な発想力や企画力の養成を目的に「自主企画実践」という科目が設けられたとのことである。今回のこのづくり教室の運営は、この授業の一貫として実施され、学生たち自ら企画を行い、工夫をしながら取り組んだそうである。また今回のイベントは企画書作成から製作マニュアル、組み立て準備、

当日は初夏のような少し汗ばむ陽気の中、20を超すイベントが実施されており、朝から小学生を中心に多くの市民が訪れていた。これらのイベントの中でも一番人気があったのが、職業大（PTU）のものづくり体験であった。

このPTUものづくり体験のイベントを企画・運営したのは、8名の学生たち。なんと



を心待ちにしている子供たちみんなに体験してもらいたい。そこで事前にいくつかのパーツを組み立てることで組立時間を短縮し、多くの子供たちが参加できるように工夫をした」とのこと。教室運営の方法も色々工夫していたようである。

参加した子供たちの中には、初めて工具を使ったという経験がきっかけで、ネジ締めを

製作作業ではあらかじめ部品の形状に打ちぬかれた板材を用い、それらをネジや接着剤を使いながら組み立てを行う。PTUの学生たちによると、「製作

## まちで楽しむ7

ロボット部 サイクリング部 建築研究会  
市内大学関係者に猛烈アピール

生命懸念組み立てを行っていた。完成した時には子供たちから歓声もあがり、学生たちは笑顔になっていたのが印象的であった。最後には「なかまちテラスまつり」で発表されたロボットハンドでお菓子をつかむ体験も用意されていた。子供たちや保護者からの熱い感謝が寄せられ、学生たちにとっても良い経験になったようである。PTUではこれからも市民や地域の方々に関わりたいと意欲を込めて活動している学生団体のこと。今後の取り組みに期待していき

### 学生の感想

正直本番はとて大変だった。上手くいかないこともあり、教えることの厳しさを知った。しかし子供たちと一緒にロボットハンドをつくりあげた達成感や子ども達の笑顔、感謝の気持ちに深く胸を打たれました。今回の経験は自分の成長に役立つものであったと確信しています。このような取り組みは後輩にも伝えていきたいと思っています。



小平市には特色の異なる7つ大学等（嘉悦大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学、職業能力開発総合大学校）があり、毎年、「まちを楽しむ」という学生たちの発表の場を設けている。第7回目として5月19日13時から武蔵野美術大学鷹の台キャンパスで開催された。発表会は第1部「地域で活動している学生団体のプレゼンテーション」、第2部「学生団体と市民とのディスカッション」で構成されている。職業大（PTU）からは

ロボット部、サイクリング部、建築研究会の3団体が参加し、日頃の活動を発表した。PTUの参加団体数は7大学の中で最も多く、日頃の成果を分かりやすく発表していたのが印象的であった。特にプレゼンテーションや実物の展示などPTUの得意とする手法で発

職業能力開発総合大学校  
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)  
**OPEN CAMPUS**  
**2019**  
7/26 FRI 7/27 SAT 8/3 SAT 11/23 SAT

笑顔の学生  
PTUのサークル活動をアピールしたくて参加しました。普段あまり外部と交流できなかったのですが、良い機会を得ることができたと思う。これからもどんどん他大学との交流も積極的にを行い、自分の視野をもっと広げていきたいと感じています。

